



裏磐梯だより

No. 84

2017 年 5 月



▲新緑の弁天沼

裏磐梯にも、遅い春がやってきました。これから初夏に向かって、たくさんの生きものが動き出し、花が咲き、小鳥たちの恋の季節になります。「たのしみは 朝起き出でて昨日まで 無かりし花の咲ける見るとき」という日が毎日続きます。

さて、写真は「弁天沼」です。青がとてもきれいな、そして神秘的な沼です。東山魁夷の作品「^{ひがしやまかい}緑響く」は、静かな水面に白馬が映り、とても静かな感じの作品です。ロケ地は長野県ですが、弁天沼にたたずんでいると、白馬が現われてくるような錯覚に陥ります。

弁天沼は、七福神の中の紅一点、弁天様（弁財天）から、名前が付けられたのではないかと思います。弁天様はヒンドゥー教の女神が仏教に取り込まれた呼び名で、古代インドの「水の神」ガルーツです。まさに、神秘的な弁天沼の水の色と水量の豊かさは、水の神にふさわしい沼といえるでしょう。まわりの山の緑は、明るいうす緑色、やや濃い緑色、ベルベットのような深くて濃い緑色……。緑にこれほどの種類があったかと思うほど、それぞれが微妙に違う、まさに「山、笑う」です。

裏磐梯は「咲く花の薫うがごとく 今盛りなり」という季節です。ぜひお出でください。

オシダ
(オシダ科オシダ属)

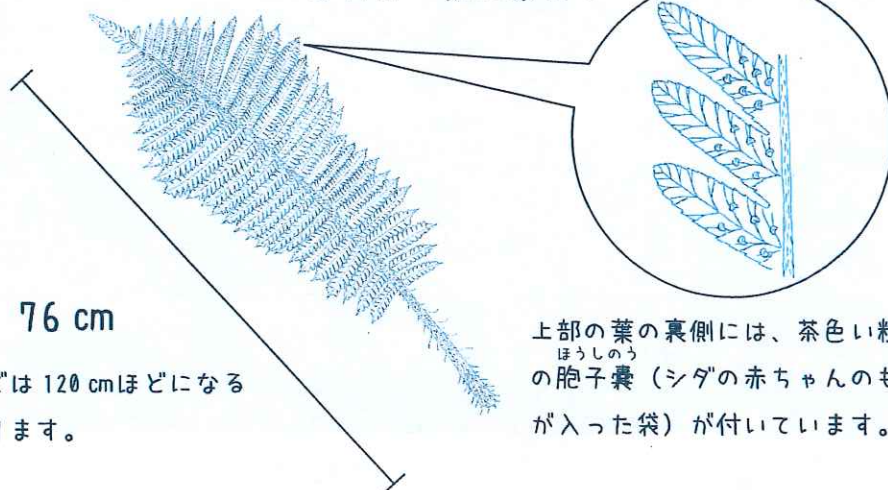
北海道・本州・四国に分布する夏緑性の大型のシダ植物。ササ類の生育が困難な礫を多く含む場所に生育することが多いといわれます。



▲林床の一面に広がるオシダは、まるで恐竜時代にタイムスリップしたかのよう

オシダの葉

これが一枚の葉だ！



76 cm

大きな株では 120 cm ほどになる
ものもあります。

上部の葉の裏側には、茶色い粒状
の胞子嚢（シダの赤ちゃんのもと
が入った袋）が付いています。

オシダの葉が開くまで



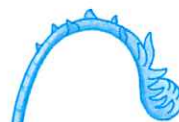
①雪の解けた林床に、雪の重み
でぺちゃんこになった葉が姿を
現します。これは昨年に枯れた
葉が緑色のまま残ったものです。



②しばらくすると、落ち葉のふ
とんがかけられていた中心部か
ら、毛むくじらの茶色い新芽
が出てきます。



③新芽はどんどん上に向かって
のびた後、葉を開きます。



イナバウアー



自然解説員の巡視日記 その1

げんむづか

みね

現夢塚の大石は「見祢の大石」にそっくり

2017年5月6日 くもり
五色沼自然探勝路

猪苗代町にある国の天然記念物「見祢の大石」は、磐梯山の明治の大爆発による岩なだれで南東に約5kmほど運ばれて、現在、見祢地区の民家の庭にあります。安山岩の巨岩で重さ300tともいわれています。一方、裏磐梯緑化の父、遠藤現夢が自らの墓石とした大石は、同じ明治の岩なだれで北に約5kmほど移動して、柳沼と竜沼の中間あたりに鎮座しています。この現夢塚の大石は、岩石のつくりや特徴が見祢の大石そっくりだったのです！

ともに安山岩ではありますが、正確に言うと、安山岩質の溶結火砕岩（以前の呼び名では集塊岩）です。火口から噴出した溶岩が、火口付近の既存の岩石や火山礫などを内部に取り込みつつ固まったもので、大小の岩片がくっついて固まったつくりをしています。

このような岩石は、火山の噴火口近くでないとできないものです。もしかしたら、両大石は噴火前は一体で、同じ火道（地下深くからのマグマの通り道）を埋めた溶岩だったのかもしれませんが。それが爆発により、かたや南東に、かたや北に運ばれ、約10kmも隔てられた現在の場所にある。五色沼自然探勝路を歩き、そんな壮大な可能性が思い浮かんできました。



▲見祢の大石



▲現夢塚の大石



ようこそビジターセンターへ

春の「わくわく散歩」を実施しました！

「わくわく散歩」では、スタッフと一緒にビジターセンターから毘沙門沼にかけての遊歩道を約30分間散策し、自然解説員と歩くよさを味わっていただきます。道中では、そのとき発見した生きものや裏磐梯の成り立ちなどの解説が聞けます。

とくに、GW期間中は多くの来館者の皆様にご参加いただき、ミズバショウやクロサンショウウオの卵囊などを観察しました。

ご案内するコースは、整備された道ばかりなので、スニーカーで参加することが可能です。「わくわく散歩」はビジターセンターで随時受付けておりますので、ぜひ新しい発見をしてください。



▲実施の様子



ミズバショウ



クロサンショウウオの卵囊

イベント & お知らせ

わ くわく散歩

スタッフがビジターセンター周辺をご案内します。

受付時間：随時

所要時間：30 分程度

参加費：100 円

定員：10 名



ス ライドトーク

磐梯山の噴火や五色沼の水の不思議などについて、スタッフがスライドショーでお話します。

受付時間：随時

所要時間：25 分程度

参加費：無料 定員：40 名



新 しい展示をはじめました

五色沼なんでもコーナーを開設しました。
五色沼に関する素朴な疑問は、ここで解決できるかも！



レ ンタルしています

長靴、クマ鈴、双眼鏡、傘のレンタルをしています。

※詳しくはお問い合わせください。



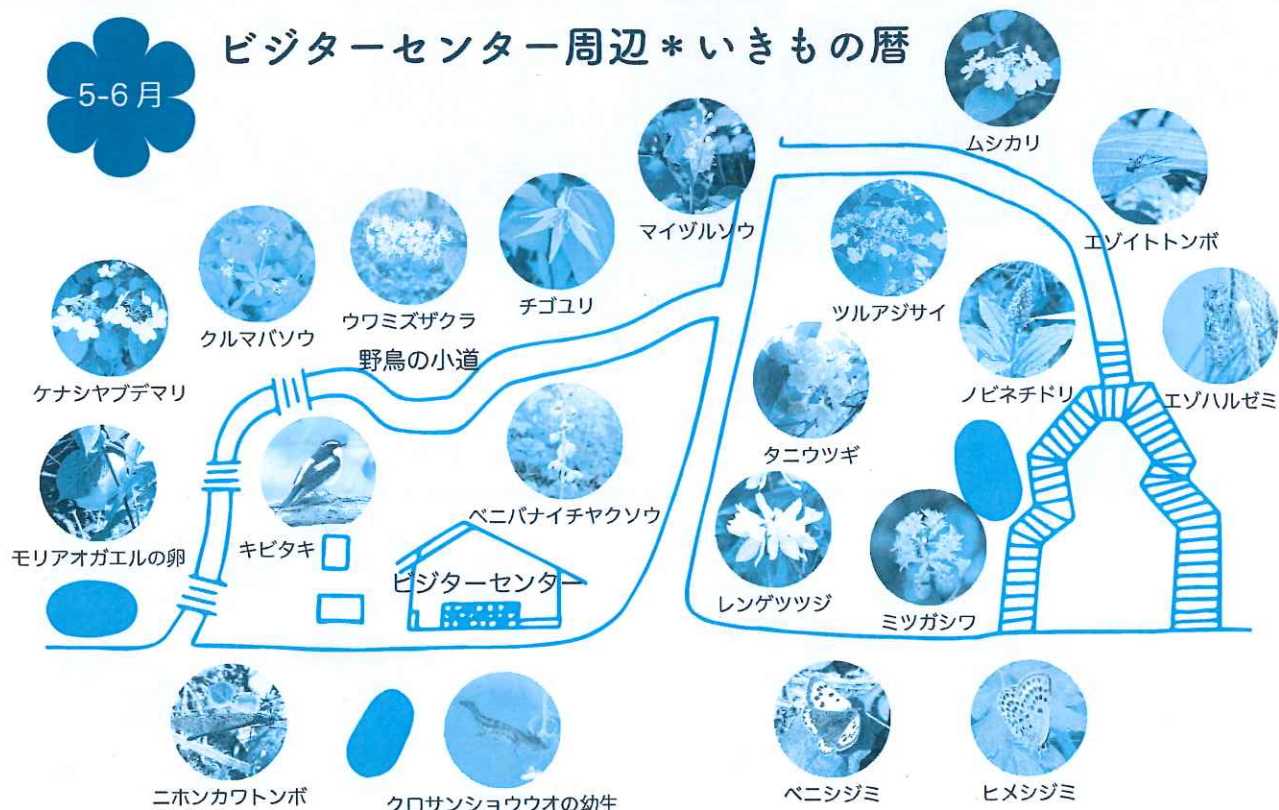
ビジターセンターの窓から

目には青葉 ヤマホトトギス…
(クリリン)
今年の春は進展が早い。おいてい
かれそう！(ターサン)
新緑の緑がキラキラです。
(はるるん)
生きものたちが動き出してしまし
た。たくさんみつけて写真を撮ら
なければ！(さはらん)



5-6月

ビジターセンター周辺＊いきもの暦



《編集・発行》裏磐梯ビジターセンター自然体験活動運営協議会 2017/5/31 ※裏磐梯だよりの営利目的での使用をお断りします。

定期購読のお知らせ ご住所とお名前を明記の上、82 円切手 6 枚（奇数月発行 1 年間分）を同封し裏磐梯ビジターセンター宛にご郵送ください。

磐梯朝日国立公園 裏磐梯ビジターセンター

〒969-2701

開館時間 9:00-17:00 入館無料

TEL 0241-32-2850 FAX 0241-32-2851

福島県耶麻郡北塩原村大字桧原字剣ヶ峯 1093-697 休館日 火曜日（火曜日祝日の場合は開館し翌日休館）ホームページ <http://www.urabandai-vc.jp>